

大感謝祭で地域と交流

太田ガス事業(協)

太田ガス事業協同組合(大塩孝理事長)は、10月28日・29日の2日間、太田市・ティアラグリーンパレスにおいて、秋の大感謝祭を開催した。

4回目の開催となった本イベントは、最新のガス機器の展示や紹介等を通して、お客様への感謝の気持ちを伝えるとともに、組合にとって貴重な地域との交流の場となっている。

イベント開催中は、各メーカーのガス器具等を特別価格で販売す



規模を拡大した会場ではイベントが目白押し

るとともに、ガスや電気に関する生活相談を実施。さらに、マジックショーやバンド演奏といったエンターテインメント性に富んだ企画も行われ、家族連れを中心に、2日間で約1,100人の来場者で賑わった。

また、今年はハロウィンの要素が盛り込まれ、理事長をはじめとするスタッフが仮装した姿で来場者を出迎えたり、子供用の貸衣装を用意して、撮影した記念写真をプレゼントするなど、来場者を楽しませるための工夫が多く施されていた。

高い技術力を広くアピール

桐生刺繍商工業(協)

桐生刺繍商工業協同組合(村田欽也理事長)は、11月3日～5日の3日間、桐生市・有鄰館において、恒例の刺繍展を開催した。

45回目となった今回の刺繍展のテーマは「伝統と美と技の永遠に続くきりゆの刺繍」。

会場では、海外でも高い評価を受ける世界最高の機械刺繍の技術を生かした色鮮やかな作品や、コンピュータ刺繍の実演、インバウンド向けの刺繍製品の販売等が行われた。

また、最終日の5日には、桐生市長・亀山豊文氏も出席し、「刺繍デザイン画コンテスト」入選者の表彰式が行われた。入選デザイン5点は、伝統工芸士により刺繍が施され、世界に1つだけのスカジャ



村田理事長より刺繍で文字が書かれた特製の表彰状を贈呈

ンとして、入選者に手渡された。今回の刺繍展は、祝日の関係で初めて3日間連続開催となったことに加え、より広い会場に変更されたこともあって、外国人観光客を含めて約2千人が来場するなど、大きな盛り上がりを見せていた。村田理事長は、「3日間連続の開催で準備が大変だったが、組合員の技術力を例年以上に多くの来場者の方々にアピールすることができた。今後も、『日本一の刺繍産地』ならではの魅力ある製品のPRに努めていきたい」と力強く語った。